

魚沼市立小出病院 看護師クリニカルラダー

看護の核となる実践能力: 看護師が論理的な思考と正確な看護技術を基盤に、ケアの受け手のニーズに応じた看護を臨地で実践する能力

2020年4月1日

レベル	I 卒1		II 卒2~4		III 卒5~10		IV 卒11~主任		V 副師長 看護師長				
	定義	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する		標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する		ケアの受け手に合う個別化看護を実践する		幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する		より複雑な状況において、ケアの受け手にとって最適な手技を選択しQOLを高めるための看護を実践する			
看護実践能力	【レベル毎の目標】	助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえたニーズをとらえる	【レベル毎の目標】	助言を得ながら、安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
	【行動目標】	①助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる ②情報を基に看護領域の問題点をあげることができる ③指導者の意見を聞いて計画をたてることができる ④ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる	①自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる ②得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる	①ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個性を踏まえ必要な情報収集ができる ②得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる	①ケアの受け手の個性に合わせて、適切なケアを実践できる ②ケアの受け手の潜在的・潜在的ニーズを察知しケアの方法に工夫ができる ③ケアの受け手とケアについて意見交換できる	①ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズに応えるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる ②幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的および予防的に看護実践ができる	①ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見(看護および看護以外の分野)を動員し、ケアを実践・評価・追求できる ②ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる	①指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる ②看護手順やガイドラインを活用することができる ③ケア結果を振り返ることができる	①ケアの受け手の個性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる ②ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる ③ケアの受け手の状況に応じた援助ができる	①ケアの受け手の個性に合わせた、適切なケアを実践できる ②ケアの受け手の潜在的・潜在的ニーズを察知しケアの方法に工夫ができる ③ケアの受け手とケアについて意見交換できる	①ケアの受け手がおかれている状況(場)を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる ②多職種間の連携が機能するように調整できる ③多職種の活力を維持・向上させる関わりができる	①ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす	
	【レベル毎の目標】	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手を取り巻き多職種の力を調整し連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす	【レベル毎の目標】	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手を取り巻き多職種の力を調整し連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす	
	【行動目標】	①助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を共有することができる ②助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる ③ケアの受け手を取り巻き関係者の多様な価値観を理解できる ④連絡・報告・相談の必要性を理解し実践できる	①ケアの受け手を取り巻き関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれ積極的に情報交換ができる ②関係者と密にコミュニケーションを取ることができる ③看護の展開に必要な関係者を特定できる ④看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる	①ケアの受け手の個別化ニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる ②ケアの受け手とケアについて意見交換できる ③積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる	①ケアの受け手がおかれている状況(場)を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる ②多職種間の連携が機能するように調整できる ③多職種の活力を維持・向上させる関わりができる	①ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	①ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる						
【レベル毎の目標】	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要情報を提供できる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる	【レベル毎の目標】	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要情報を提供できる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる		
【行動目標】	①助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる ②倫理綱領について理解出来る	①ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる ②確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	①ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる ②ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを理解できる ③ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる	①ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる	①適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる ②法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる								
自己教育・研究能力	【レベル毎の目標】	助言を受けながら自己の教育的課題を導き出すことができる	自己の教育的課題を達成するために、自ら積極的に学習することができる	自己の教育的課題の達成に向けて、学会や研究会等の参加を通して、自ら積極的に学習するとともに、他者に対して教育における指導的な役割を実践することができる	看護研究や研究会等の参加を通して自己学習教育活動を展開することができる。組織内教育において自立して指導的役割を担うことができる	【レベル毎の目標】	助言を受けながら自己の教育的課題を導き出すことができる	自己の教育的課題を達成するために、自ら積極的に学習することができる	自己の教育的課題の達成に向けて、学会や研究会等の参加を通して、自ら積極的に学習するとともに、他者に対して教育における指導的な役割を実践することができる	看護研究や研究会等の参加を通して自己学習教育活動を展開することができる。組織内教育において自立して指導的役割を担うことができる	【レベル毎の目標】	助言を受けながら自己の教育的課題を導き出すことができる	自己の教育的課題を達成するために、自ら積極的に学習することができる
【行動目標】	①事例をまとめ報告できる ②看護技術を習得する	①看護技術の習得、看護過程の展開ができる。学生を援助することができる。 ②看護研究チームの一員として研究に取り組むことができる	①自主的に様々な研修に参加し、高いレベルで専門的知識・技術を習得する。 ②看護専門的知識・経験を活かしスタッフの教育指導ができる。	①自己の研究テーマを持ち、研究としてまとめることができる。 ②研究・研究会の内容をセッション内で伝達できる。	①院内外の研究会に積極的に関わる ②スタッフの専門性を発揮できるよう支援し活動する。 ③研究の指導ができる。								
組織的役割遂行能力	【レベル毎の目標】	セクション内のメンバーとしての役割や係りの活動の補佐的役割を果たせる	セクション内の係および委員会活動における役割を果たすことができる	セクション内の日々のリーダーや委員会活動における役割を果たすことができる	専門的能力を要する役割を果たし、チーム内での指導的役割も担うことができる	【レベル毎の目標】	セクション内のメンバーとしての役割や係りの活動の補佐的役割を果たせる	セクション内の係および委員会活動における役割を果たすことができる	セクション内の日々のリーダーや委員会活動における役割を果たすことができる	専門的能力を要する役割を果たし、チーム内での指導的役割も担うことができる	【レベル毎の目標】	セクション内のメンバーとしての役割や係りの活動の補佐的役割を果たせる	セクション内の係および委員会活動における役割を果たすことができる
【行動目標】	①コミュニケーションの基本スキルを学ぶ ②看護単位の目的・目標を知り、その達成の活動に参加する ③院内のシステム・ルールを知っている ④災害時、指示のもと行動できる	①提供した看護ケアに対する診療報酬を理解する ②チームメンバーと共に看護単位の課題について情報交換・意見交換できる ③病院や看護単位の活動に参加する ④災害時対策について説明でき、災害時、指示のもと行動できる	①看護単位の目標達成のための活動に参加し業務の改善点について意見を述べる ②看護スタッフの業務量や行動に注意を払うことができる ③病棟の代表者としての委員の役割を認識し活動できる ④緊急時・災害時に適切に対処できる	①看護単位の目標達成のための活動を促し、その達成度の評価に参加している ②委員会内において会議の推進役ができる ③緊急時・災害時にリーダーシップを発揮できる ④組織内教育において自立して指導役を担うことができる	①安全な看護の提供のために総合的な安全管理ができる ②看護単位の活動と方針を作成し実践できる ③経営効率、経済効果を考慮した病棟管理ができる ④組織が円滑に機能するよう委員会、会議を企画し、効率よく運営・推進できる ⑤危機管理ができる ⑥職員の心身の健康管理に関して注意を払い、指導・援助できる								